

株式会社 INPEX 技術総合職 夏季インターンシップ 2025

株式会社 INPEX は国内外でのエネルギー開発事業を通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。本インターンシップで専門技術職の深い知識に触れ、また実践的な経験を積みながら、エネルギー業界の最前線で活躍するプロフェッショナルたちと肩を並べて学びましょう。



コース一覧

国内コースでは、東京本社 / 新潟事務所での専門的な実習を通じて、エネルギー開発の現場を体験することができ、海外コースでは、パース事務所でグローバルな視点から業界を理解し、異文化交流を通して海外での仕事や生活を体験することができます。就業型コースでは、東京本社とオンラインのハイブリッド形式で実際の業務に携わりながら、会社の文化や業務の流れをより深く理解することができます。オンラインコースでは、時間や場所にとらわれずに、INPEX の技術総合職の業務を理解することができます。

	実施形態	コース	開催時期
①	対面	[仕事体験] 国内 2 週間 A コース	2025 / 7 / 28 (月) ~ 2025 / 8 / 8 (金)
②	対面	[仕事体験] 国内 2 週間 B コース	2025 / 8 / 25 (月) ~ 2025 / 9 / 5 (金)
③	対面	[仕事体験] 海外コース パース	2025 / 8 / 25 (月) ~ 2025 / 9 / 7 (日) ※1
④	対面	技術総合職 就業型コース	7 月から 10 月までの間の最大 8 週間 ※2
⑤	オンライン ／対面	専門別 3 日間ハイブリッドコース	[1] 2025 / 8 / 13 (水) ~ 2025 / 8 / 15 (金)
			[2] 2025 / 9 / 10 (水) ~ 2025 / 9 / 12 (金)
⑥	オンライン	1 day : INPEX 技術専門分野 横断学習	[1] 2025 / 8 / 1 (金)
			[2] 2025 / 8 / 13 (水)
			[3] 2025 / 8 / 29 (金)
			[4] 2025 / 9 / 10 (水)

※1 9 月 7 日 (日) が帰国日となります

※2 就業型コースの実施期間については、学生の皆さんのご希望を伺い、受け入れ部門とすりあわせて決定いたします

【お願い】INPEX の夏季インターンシップへのご参加にあたり、大学/大学院での授業や試験等を欠席することのないようお願いいたします。当社では、夏季インターンシップの参加コース・日程の違いが、本選考結果に影響しないよう配慮しています。



問い合わせ先：recruit@inpex.co.jp (インターンシップ担当)

【対面実施】コース①～③

内容・スケジュール※3※4：

[仕事体験] 国内 2 週間 A コース/B コース

日にち	内容	場所
Day 1	初日ガイダンス・懇親会	東京本社
Day 2	INPEX 技術研究所見学・部署紹介（・移動：新潟実習者のみ）	技術研究所
Day 3～8	各部署実習 <ジオサイエンス（地質・物理探査）> 石油・天然ガスの探鉱・開発業務、CCS 技術検討、地熱開発に関する実習（坑井データ解析、震探解釈、埋蔵量計算、リスク評価など）、地質巡検や岩石コア観察など。 <サブサーフェス（掘削・貯留層）> 石油・天然ガスの探鉱・開発業務、CCS 技術検討、地熱開発に関する実習（貯留層シミュレーション、坑井シミュレーション、坑井・掘削・仕上げデザイン検討など）など。 <エネルギー変換プロセス（生産、施設（プロセス/機械/電気/計装/海洋/土木/材料 など）、HSE）> プロセスシミュレータでの石油・天然ガスプラントの性能評価、坑内/フローラインモデルの作成・評価、現場の定期検査立ち合い、クリーンエネルギー技術（CCUS、低コスト水素製造等）の技術検討で使用するデータの調査、プロジェクトの予算・計画管理業務など。	東京本社 技術研究所 新潟事務所 ・東日本鉱業所
Day 9	（移動：新潟実習者のみ・）報告会準備・面談等	東京本社
Day 10	報告会・クロージング	東京本社

[仕事体験] 海外コース パース

日にち	内容	場所
Day 1	初日ガイダンス・懇親会	東京本社
Day 2	INPEX 技術研究所見学・部署紹介	技術研究所
Day 2～3	（移動：東京⇒パース）	
Day 4～9	各部署実習 <ジオサイエンス（地質・物理探査）> 石油・天然ガスの探鉱・開発業務に関する実習（坑井データ解析、震探解釈、埋蔵量計算など）、地質巡検や岩石コア観察など。 <サブサーフェス（掘削・貯留層）> 石油・天然ガスの探鉱・開発業務に関する実習（貯留層シミュレーション、坑井シミュレーション、坑井・掘削・仕上げデザイン検討など）など。 <エネルギー変換プロセス（生産、施設（プロセス/機械/電気/計装/海洋/土木/材料 など）、HSE）> 開発業務において実際に使用するソフトウェアを用いた実習。プロジェクトドキュメントレビュー、コントラクターとの会議参加、Flow Assurance・プロセス検討、配管設計など。	パース事務所
Day 10	報告会 クロージング	東京（リモート参加） パース事務所
Day 11～12	（移動：パース⇒東京）	

※3 スケジュールおよび実習内容は昨年実績に基づく計画時点のもので、業務等の都合により変更となる可能性があります

※4 休日は各拠点事務所の休日規程に従います

募集人数： 合計 45 名程度（うち海外 6 名程度）

会社手配： 遠方の方： 前泊用の宿泊手配（希望者のみ）、東京までの交通費の一部支給、実習中の宿泊手配

首都圏の方： 交通費、宿泊手配（東京勤務を除く）

海外コース： 東京⇒パースの往復フライトチケット、宿泊手配

全員： 懇親会、旅行傷害保険、その他実習にかかる移動費用（東京⇒新潟の往復など）

学生負担： 実習期間中の食事代、クリーニング費用、パスポート発給/更新申請手数料、荷物運送費用

参加条件： インターンシップ期間中を通じて学部生・大学院生であること

【就業型】コース④

内容・スケジュール※5：

技術総合職 就業型コース

	化学工学
開催期間	7～10 月の中で 8 週間以内
応募要件	化学系実験スキルを持ち、脱炭素に関する技術開発を実現したい意欲のある学生
勤務地	技術研究所（千歳烏山）
実習内容	低炭素化ソリューションおよび地下流体鉱物資源回収の技術開発（文献・特許調査、触媒&分子設計、プロセス検討、実験&データ解析、評価、分析、レポート作成）

※5 スケジュールおよび実習内容は計画時点のもので、受入部署の業務等の都合により変更となる可能性があります

募集人数： 各部署 1～2 名

勤務日： 要相談（昨年度例：週 2 回）

勤務場所： 要相談（昨年度例：出社・在宅のハイブリッド形式）

待遇： 時給 1,500 円、交通費の一部支給、宿泊手配、懇親会、その他実習にかかる移動費用

社会保険： なし（労災保険のみ）

学生負担： 実習期間中の食事代

参加条件： インターンシップ期間中を通じて学部生・大学院生であること

【オープン・カンパニー】コース⑤～⑥

内容・スケジュール※6：

	専門別 3 日間ハイブリッドコース	オンライン 1 day コース
コース選択	あり： ・ジオサイエンス（地質・物理探査） ・サブサーフェス（掘削・貯留層） ・エネルギー・トランスフォーメーション（生産、施設（プロセス/機械/電気/計装/海洋/土木/材料等）、HSE）	なし： INPEX 技術専門分野を横断的に学習します
開催期間	[1] 2025 / 8 / 13（水）～2025 / 8 / 15（金） [2] 2025 / 9 / 10（水）～2025 / 9 / 12（金）	[1] 2025 / 8 / 1（金） [2] 2025 / 8 / 13（水） [3] 2025 / 8 / 29（金） [4] 2025 / 9 / 10（水）
実習内容	右記オンライン 1 day コースの内容に加えて※7、以下のような内容について、より専門別に特化した講義や演習、座談会を通して学び、エネルギー開発の理解を深めることができるコース。1～2 日目はオンライン、3 日目は東京本社にて実施。 ・石油・天然ガスの探鉱・評価・開発・生産における業務の概要 ・脱炭素化に向けた取り組み ・各専門技術職（ジオサイエンス・サブサーフェス・エネルギー・トランスフォーメーション）の業務内容 ・東京本社オフィスツアー、グループワーク、専門別の社員座談会	ジオサイエンス、サブサーフェス、エネルギー・トランスフォーメーションの 3 つの分野の働き方を総合的に学べる 1 day コース。 各専門の技術者から「働く内容」「キャリア」などを生の声で聴くことができます。 「自分の専攻だとどんな分野で活躍できるの？」 「まずは一旦全部の分野を学びたい」 「業界の内容をまずは習いたい」 そんな方にピッタリのコースとなっています。

※6 スケジュールおよび実習内容は計画時点のもので、都合により変更となる可能性があります

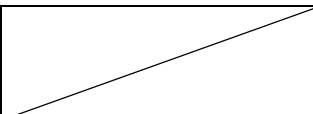
※7 専門別 3 日間ハイブリッドコースの 1 日目は、オンライン 1 day コースと合同で実施します

開催形式： オンライン（Zoom）、対面（東京本社）

待遇： 東京までの交通費の一部支給（専門別 3 日間ハイブリッドコース参加者のうち、遠方の方のみ）

参加条件： インターンシップ期間中を通じて学部生・大学院生であること

応募の流れ

	国内 A/B コース	海外コース	就業型コース	専門別 3 日間コース
Step 0	弊社 HP にアクセスいただき、27 卒マイページ登録を行ってください。 URL : https://job.axol.jp/bx/s/inpex_27/entry/agreement			
Step 1	『INPEX 技術職仕事研究セミナー兼インターンシップ説明会』に参加（必須※8） 2025 年 4 月 24 日（木）、5 月 7 日（水）、5 月 20 日（火）、6 月 3 日（火）の 4 回、 いずれもオンライン（Zoom）にて開催予定です。詳細はマイページでご案内します。			
Step 2	エントリーシートの提出： 2025 年 4 月 21 日（月）～ 6 月 8 日（日）			
Step 3	履修履歴データの提出： 2025 年 5 月 20 日（火）～ 6 月 8 日（日）			
Step 4	適性検査の受検： 2025 年 5 月 26 日（月）～ 6 月 15 日（日）			
Step 5	対面コース WEB 面接※9： 2025 年 6 月 24 日（火）～ 6 月 26 日（木） 就業型コース WEB 面接： 個別にご案内			面接なし
Step 6	選考結果の通知※10： 6 月下旬から順次			
Step 7	参加者向け 国内コース：2025 年 7 月 7 日（月） アーカイブ視聴可 WEB ガイダンス 海外コース：2025 年 7 月 11 日（金） アーカイブ視聴可			
Step 8	各種事前手続きの対応（参加前アンケート、旅行傷害保険加入 等）			
Step 9	インターンシップ参加			

※8 今年度すでに INPEX の開催する会社説明およびインターンシップ説明会に参加された方については不要です

※9 WEB 面接のご案内日程については、都合により変更となる可能性があります

※10 海外コースに参加が決まった方は、ご自身で速やかにパスポートの取得や更新と ETAS 取得手続きを進めてください
（オーストラリアへの入国にあたり、6 カ月以上の残存有効期間が必要です）

	オンライン 1 day コース			
Step 0	弊社 HP にアクセスいただき、27 卒マイページ登録を行ってください。 URL : https://job.axol.jp/bx/s/inpex_27/entry/agreement			
Step 1	参加予約： 2025 年 7 月上旬（マイページよりご案内）～ 各イベント開催日の 1 週間前まで			
Step 2	インターンシップ参加（Zoom）			

昨年参加者の声

参加コース	専門	感想
国内コース	地質	技術的な知識や業務内容の理解が深まっただけでなく、現場での意思決定のプロセスやコミュニケーションの重要性といったところまで学ぶことができました。社員の方々のフレンドリーな雰囲気も知ることができ、志望度が高まりました。
国内コース	生産	期待以上の内容でした。実践的な経験や専門知識を深めることができ、とても充実した時間を過ごせました。コースの中でプラントの現場を見学する機会があり、理論と実務を結びつけるとても貴重な経験ができました。
国内コース	施設	部署ごとに少人数で対応してもらえるため、濃密な時間を過ごすことができました。社員の方と話す時間が多くあり、企業・業務理解の他、自分の今後のキャリアについてよく考える機会にもなります。ぜひ後輩にも参加を勧めたいです。
海外コース	貯留層	海外駐在へのイメージを深めながら、実際の業務をこれだけ体験できるインターンシップは他にはないと思いました。エネルギー業界や INPEX に少しでも興味があるのなら参加して絶対に損はないインターンです。
就業型	化学工学	非常に有意義でした。実際の業務のイメージをつかむことができたこと、職場や社員の明るい雰囲気や働き方、そして今後の事業展開について詳しいお話を聞いたことは、とても良い機会でした。INPEX への志望度がますます高まりました。

参考情報

専門分野	石油・天然ガス、再生可能エネルギー、気候変動対応（低炭素化・CCUS）、水素・アンモニア、DX					
採用枠	ジオサイエンス（GS）		サブサーフェス（SS）		エネルギー変換（EX）	
学び・専攻	地質	物理探査	掘削	貯留層	生産・施設	HSE
地球科学系	●	●	●	●		
資源系		●	●	●	●	●
機械系			●	●	●	●
電気・電子系		●	●	●	●	
土木・建築系		●	●	●	●	●
化学系			●	●	●	●
環境系			●	●	●	●
海洋系		●	●	●	●	●
情報系		●	●	●	●	
その他理系		●	●	●	●	●

上記表はこれまでの実績ある専攻を中心に作成したものであり、表中にない専攻については別途ご相談ください。

ジオサイエンス

地質：

地質学的知見を駆使し、地下深くに眠る資源（石油・天然ガス、地熱）の探鉱や開発検討を行うほか、CCS^{※11}・CCUS^{※12}事業においては貯留ポテンシャルを評価して適地選定を行います。

物理探査： 解説動画 <https://youtu.be/4pA9CMjEI4k>

主に反射法地震探査技術を用いて地下構造を可視化し、資源（石油・天然ガス、地熱）の集積する構造の解釈や岩石物理学的解析を行うほか、CCS・CCUS事業においては、適地選定やモニタリングに携わります。

サブサーフェス

掘削： 解説動画 <https://youtu.be/wkVMOX2tNUE>

地上から貯留層にアクセスするための最適な坑井のデザイン・掘削・仕上げを行います。従来の石油・天然ガス開発のみならず、地熱開発や CCS・CCUS 事業においても、最適な坑井を計画通り安全に掘削する役割を担います。

貯留層： 解説動画 <https://youtu.be/f2M4lgazKcU>

主に貯留層シミュレーションを用いて地下資源の埋蔵量を評価する他、貯留層や生産システムにおける流体挙動を評価・予測して開発計画を最適化します。CCS・CCUS 事業においても候補地の貯留能力をシミュレーションする他、圧入中の CO₂ の挙動を評価・予測することでプロジェクトの方針を策定します。

エネルギー変換

生産： 解説動画 <https://youtu.be/nIZ0SWldmq8>

油ガス田から効率的かつ最大限の資源を生産するために、井戸から出荷設備までの生産ネットワークの全体を管理します。

施設： 解説動画 <https://youtu.be/pcuifUUbLJo>

化学/ 機械/ 電気/ 海洋/ 土木等の専門性を活かして、石油・天然ガスの開発のみならず、水素・CCS などの脱炭素事業や再生可能エネルギー事業などネットゼロカーボン社会に向けた取り組みにおける、陸上・海上プラントなどの生産施設の設計・建設・運転保守を行います。

HSE：

HSE は Health, Safety and Environment の略であり、石油・天然ガスや再生可能エネルギーなどの持続可能な開発のため、従業員や周辺住民等関係者全員の健康や安全、環境保全に気を配り、クリーンなエネルギー開発をするため、有害要因の洗い出し・リスク評価等を通じて、プロジェクト遂行のサポートを行います。

※11CCS: Carbon dioxide Capture and Storage

※12CCUS: Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage